

めざそう！食肉の安全・安心！！



2013.5 (vol. 51)

検査所だよい

宮城県食肉衛生検査所

開かれた食肉衛生検査所へ！私たちは食肉衛生検査情報の還元を推進し、開かれた食肉衛生検査所をめざしています。生産者の方も食肉関連事業者の方も気軽に食肉衛生検査所をご利用ください。

平成 24 年度と畜検査概要

～昨年度の検査結果がまとまりました～

1. と畜検査頭数及び食鳥検査羽数

牛	馬	豚	めん羊・山羊	鶏・合鴨
5,943 (114.1%)	1 (H23年度0頭)	244,540 (98.1%)	30 (56.6%)	6,128,689 (114.7%)

()内は前年比

2. 原因別とさつ解体の禁止及び廃棄処分件数

	牛		馬	禁 止	豚		めん羊
	全部廃棄	一部廃棄	一部廃棄		全部廃棄	一部廃棄	一部廃棄
実 頭 数	6	5,067	1	3	165	162,120	14
牛白血病	1						
豚丹毒				1	16		
放線菌病		2					
寄生虫病		18				18,447	
膿 毒 症	1			2	86		
敗 血 症	1				27		
黄 疸					2	9	
水 腫	1	247			2	2,251	
腫 瘍	2	7			4	31	
炎 症		4,535	1		18	150,890	10
変性または萎縮		1,620			10	13,535	6
その他		570				7,640	1
合 計	6	6,999	1	3	165	192,803	17

- ・家畜伝染病等に罹っている疑いがある場合は、とさつ禁止になります。
- ・全部廃棄は全身に及ぶ炎症や変性等があったり伝染病に罹患して、枝肉や内臓など全て食用不適なものです。
- ・一部廃棄は限局した病変が見られるもので、その部分を除いて食用に供されます。

3. 食肉中の放射性物質検査実施状況

	牛	馬	豚	めん羊
検査頭数	1,408	1	62	2
違反件数	0	0	0	0

4. TSE(伝達性海綿状脳症)検査実施頭数



平成24年度は牛及びめん羊約6,000頭を検査し、全て陰性でした。

	検査頭数	陽性頭数
牛	5,943	0
めん羊	22	0

<TSEとは>

牛のBSE(牛海綿状脳症)、めん羊のスクレイピー、ヒトのヤコブ病など、異常プリオン蛋白が脳の神経細胞に蓄積することによって発症する病気の総称です。原因として異常プリオン蛋白で汚染された食物の摂取により発症すると考えられています。

豚はとさつ前**12時間**以上の **餌切り**が重要です!!

餌切りをしないとどうなる?

- その1 未消化の飼料や消化管内容物により、胃や腸の重量が増し、処理しにくくなります。
- その2 とさいから内臓を取り出す時に消化管が破れてしまうことがあり、**消化管内容物が枝肉に付着すると品質が低下してしまいます。**



餌切りのメリット

◎飼料代の削減

とさつ直前に与えた飼料は**枝肉重量に影響がない**とされています。

◎豚肉の品質改善

肉の赤味が増して、**保水性**が高くなり、**肉のしまり**がでるとされています。

◎むれ肉の発生防止

筋肉中のグリコーゲンが減少して乳酸の生成が少なくなるため、むれ肉の原因となるpHの急激な低下が抑えられるとされています。

(American Meat Science Association刊行誌 Facts 他による)

夏期衛生指導強化月間(6月1日~30日)

夏期衛生指導強化月間中に食肉等運搬車両の衛生監視を行います。ドライバーの方に積載場所の清掃状況、温度管理および消毒方法についてお話を伺いますので、ご協力をお願いします。



ご意見ご感想をお寄せください

宮城県食肉衛生検査所

〒987-0311

宮城県登米市米山町字桜岡今泉314

電話: 0220-55-3752

ファックス: 0220-55-4105

電子メール: shmeat@pref.miyagi.jp



「検査所だより」は、皆様と食肉衛生検査所を結ぶ情報紙です。